

## 第6回嬉野市教育委員会議（定例11月）

平成28年11月9日（水）10:00～

大草野小学校 校長室

### 1 開会

市民の文化祭が塩田と嬉野でありましたが、参加いただきました方はありがとうございました。リバティでの展示になり、見やすくなりました。東京での電球の火事のことで、電球が熱くなるのを知らない、マッチを擦ったことがない、公衆電話の架けかたを知らない若者がいるということを知り、昔話として話をすること、体験していないけど教えていくこと、是非体験をさせておかなければならないことがあると思います。電球もLEDが多くなって、電球もなくなっていくのでしょうか、まだありますので、子ども達にも体験させておかなければ、あのような事故があるのではないかなと改めて思いました。

### 2 会議録署名委員 ○○委員 ○○委員

### 3 議題

#### (1) 報告

##### ① 嬉野市教育の日について

- (事務局) ・嬉野中学校の「生き生きタイム」では生きる力の教科書を使った授業が、轟小学校の1年生の算数では、電子黒板に宇宙人が突然現れて、子ども達が算数を教えるという授業が、塩田小は伝建地区でよかところ祭りをすることです。この日は、先生方は通常勤務で振替休日をとってもらいます。
- ・12日の土曜日は、佐大附属中のアクティブラーニングの研究発表ですので、課長と二人参加します。

##### ② 12月議会補正予算について

- (事務局) ・ALTの交代で在籍期間が重複したため報酬を、五町田小、嬉野小、轟小で就学奨励費の対象児童の増加に伴う扶助費の増額補正を計上し、歳入に関しましても奨励費補正に伴う国庫補助の補正を計上しております。塩田給食センターの真空冷却器が故障しましたので、緊急を要しましたので予備費対応で修繕を行いました。
- (○○委員) ・新しいALTは嬉野に慣れましたか。
- (事務局) ・はい。日本語は全く話せませんが、子ども達の興味をひくような映像を電子黒板に出して授業をしています。とてもいい方です。
- (○○委員) ・重複での報酬支払いはもったいないように感じますが、どうにもできない

のですか。

(事務局) ・J E Tプログラムの日程の都合によりできませんでした。

### ③ 不登校の状況について

(事務局) ・10月末現在で、中学校、30日以上が12名、30日未満が7名で、昨年の11月並ぐらいです。今後、15名ぐらいになると予想されます。小学校が不登校傾向で2名あがっています。スクールソーシャルワーカーの迎えがいますが、何とか行けています。各学校、いろいろ問題がありますが、先生方の努力のおかげで、学校につないでもらっています。今年度訪問支援指導ということでスチューデントサポートフェイスに、家庭とつながりにくいところ4件に支援をしていただくよう手配をしているところです。

(〇〇委員) ・かなり難しい家庭なのですか。

(事務局) ・外部の力を借りた方が望ましい家庭が2件と、もともと家庭から支援を依頼されていたところもあります。

(教育長) ・中学校は2年生が5名、3年生が6名、1年生が1名です。一般的に中1ギャップで中1から不登校が出てきますが、嬉野は中1ギャップで不登校は、昨年来ありません。2年生くらいから不登校になるのが、嬉野の大きな特徴です。ここが大きな課題です。

(〇〇委員) ・中学校の30日以上は男女同数に対し、30日未満は男子が多いようですが、以前からそうなのですか。

(事務局) ・学校によって特徴が違います。相関関係はないです。

(〇〇委員) ・学校でのトラブルでの不登校はないのですか。

(事務局) ・原因の究明は難しいのですが、きっかけは学校でのトラブルでも、家庭環境の問題もあったというケースも多いような感じを受けます。また、受験期に入ると耐えられなくなるというのも最近の傾向です。ここには数字として出てきませんが、家庭環境が厳しくても頑張って登校している子どももいます。

### ④ 社会教育行事について

(事務局) ・11月29日木曜日、日本フィルハーモニー創立60周年記念の弦楽四重奏団コンサートをリバティで開催します。12月3日子ども文化祭をリバティで開催します。13団体の申し込みがあっております。18日が、ふるさとの空コンサートは、市民合唱団90名と佐藤さんと和太鼓の3団体でコラボのコンサートです。通学合宿の保護者と児童のアンケート結果です。

(〇〇委員) ・塩田地区が多かったですか。

(事務局) ・学校別の参加者は嬉野小学校7名、大草野小学校4名、久間小学校3名、

塩田小学校9名、轟小学校が2名です。五町田小学校も申込みがありました  
が、定員に達したため受付できませんでした。

(〇〇委員) ・よい取組みだと思うので、応募数が多かったら、2回するとかできないの  
ですか。

(事務局) ・現段階では、難しいですが、時期的なもの、協力団体と話をして、次年度  
は考えていきたいと思います。

(〇〇委員) ・市の職員は何名参加していますか。

(事務局) ・2泊とも男性3名、女性1名が宿泊し、宿泊しない職員が2名おりました。  
婦人会に食事の手伝いを7名お願いしました。

(〇〇委員) ・親子とも反応がいいので、是非、長く続けてほしいと思います。

## ⑤ 辞書引き学習に関する調査集計について

(事務局) ・予算作成の時期ですので、事業の効果の質問があります。昨年度からです  
ので、実際使用している3年生と、4年生の担任17人に聞いてみました。  
週に3、4回程度が半数、週に1回が3割いうことでした。国語で新出漢字  
がでてきた場合だけでなく、他の教科でも分からない言葉が出てきたら自主  
的に調べているという状況が見られます。先生方から多かったのは、児童の  
言葉に関する関心が高まった、国語辞書を使う習慣が身についた、辞書の学  
習において指導がしやすくなったということで、是非これからも続けてほし  
いとのことでした。

(教育長) ・電子辞書を使う前に、辞書の構図を指導し、理解を深めるために、辞書を  
引く習慣をつけると学習指導要領にもありますので。

(〇〇委員) ・前後の言葉を見られることは、紙の辞書のいいところですね。

(〇〇委員) ・付箋がついていますから、子どもの興味関心を高めるため、どんどん引か  
せることはいいことだと思います。

(教育長) ・授業だけでなく、放課後学習でも使う様子が見られました。

(〇〇委員) ・自分の辞書というので、学習の糧になりますし、この頑張り、是非来年  
度の予算をとっていただき、継続してほしいと思います。

## (2) 教育委員会評価について

(教育長) ・昨年度と違うところは、7項目から6項目になり、項目ごとの実績・成果・  
評価、課題・問題点、改善点を協議いただき、自己評価を入れたいと思いま  
す。12月20日に第2回の教育委員会評価委員会を開催し、評価をいた  
だきます。

(事務局) ・(1) 確かな学力の育成事業について、「嬉野市子ども学校塾」、「放課後等  
補充指導支援事業」により学力の底上げと、国語辞典の支給により、辞書引

き学習の充実を図っており、その結果小学校においては、全国学習状況調査においていい成績をとることができました。中学校は少し平均より低いですが。改善点は、家庭学習の充実を挙げております。(2) 豊かな心の推進事業について、「生きる力の教科書」を小学校6年生でも活用するよう五町田小学校で研究授業を行い、研修会ができました。民生委員会等、地域や各団体と連携した指導の在り方を今後、探っていく必要があると思います。(3) の校長先生の知恵袋事業については、校長先生に非常に頑張ってください、各学校よく取り組んでいただいております。教育効果を財政部局に示し、予算を維持したいと思います。(4) 地域とともにある学校づくり推進事業について、平成26年度から小学校も全校コミュニティスクールになって、地域コミュニティと連携して、学校単位でいい取組みをされ、研修会の開催や事務職員の参加等、いい傾向だと思えます。改善点としては、学校運営協議会の委員の交代がありますので、理念や目標を伝えていくことが、今後継続していく中で、課題だと考えています。(5) ろく・さんプラン推進事業について、各校区で連携して取組み、話し合いができております。特に、吉田小中では毎月の校内研を合同で行い、研究指定校ですので、吉田中学校は1月に中間発表がありますので、小中連携の在り方についていい提言がなされると思えます。課題・問題点は距離・物理的な問題により難しい校区の、校区にあった連携の在り方を模索していかなければならないことを挙げています。(6) 特別支援教育の推進事業について、今非常に力を入れているところで、嬉野市教育の日は全職員研修で、特別支援教育について学びました。嬉野市独自の取組みとして、早期支援コーディネーターに来ていただき、就学前の子どもの状況を把握して、小学校、保育園・幼稚園、福祉分野に繋いでいただき、非常に有効に機能しています。是非、続けていきたいと思っておりますが、今年度限りの首長部局との連携による事業で、来年の予算が確保できていません。

- (教育長) ・早期支援コーディネーターについて、これまで新入学の検診で見えておりましたが、3歳児から見えていき、親さんの理解も得ていくことができます。
- (〇〇委員) ・校長先生の知恵袋のプレゼンはある程度上限を決めてとところで、していただきと思いました。
- ・よろしいでしょうか。
- (全委員) ・はい。
- (事務局) ・教育委員会の活動状況について、(1) 定例教育委員会会議の公開性の拡大と充実ということで、学校、市役所から傍聴に来ていただき、内容によっては意見交換会を行っております。課題として、外郭団体の傍聴者を広く広報をして拡大を図ることを挙げております。(2) の教育委員に対する多様

な教育情報の提供ですが、予算関係、営繕関係の状況を随時提供致しました。課題として、緊急案件は直接連絡をするが、全体の意思疎通ができないことです。改善点として、緊急性がある場合は、臨時の教育委員会を積極的に開催すると上げております。(3) 研修会等への積極的な参加については、各種研修会に参加していただいていることを挙げ、参加後の意見交換等の充実を課題にあげ、改善点は成果の確認を実施し、話し合う場を設定するとしております。(4) の教育委員会としての役割は、事前に会議資料を配布し、密度の高い協議を行うことができました。課題は、教育委員会部局の各種審議会との情報連携で、改善点は審議会の議事録の配布や、担当の説明を挙げております。(5) 学校と教育委員会と協働意識の高揚と課題の共有化につきまして、出前トーク会を今年度6校実施し、各関係者との協議を行っております。課題は関係団体の参加調整で、改善点に早期に日程や内容を通知し、出席者全員が発言できるような体制を作っていくこととしております。(6) 市長部局と教育委員会の関係につきまして、今年度は財政課から学校訪問していただき、施設の現状を見ていただきました。課題は、学校施設の状況の把握をし、修繕、予算化への対応が課題で、改善点に学校施設の情報を提供し、現状把握の訪問を定期的を実施することとしております。

・補足ですが、この委員会も含め、各種審議会の会議録を市のホームページに掲載しています。また、市長部局との連携ですが、議会からも文教福祉委員会が視察され、市長も学校施設の営繕に関しては非常に懸念しております。

(教育長) ・市長部局との関係について、教育大綱を市長が策定することになっていきますので、ここに入れていきます。

(〇〇委員) ・市職員には保護者の方もいて、意見は参考になりましたので、入れていいのではないのでしょうか。

(〇〇委員) ・文教福祉委員との合同研修会が必要ではないでしょうか。

(〇〇委員) ・市職員からの情報をいただいたことを入れていいのではないのでしょうか。

・評価はどういたしましょうか。(1) は評価Aでいいのでしょうか。

・(2) には国や県の方針を示しながら、市の行動計画を協議したことを入れてはどうでしょうか。ここは評価Aでいいのでしょうか。

・(3) は嬉野小学校の学校運営協議会に参加したことを入れていただいて、評価Aでいいのでしょうか。

・(4) は体育大会、教育の日等に参加し、子どもの活動の様子を見ることに努め、学校や教育体制をよりよく知ることができたことを入れていただいて、課題としてもっと学校や施設のことを知っておくことが自分の役割だと思いますが、努力中ということで評価はBでいいでしょうか。

- (〇〇委員) ・もっと情報発信してはどうかと思います。
- (〇〇委員) ・課題にあげてください。
- (〇〇委員) ・「出前トーク」では地域の方の意見を聞くことができ、学校の見えないところの情報を知っていただけたのはよかったのではないのでしょうか。
- (〇〇委員) ・学力向上とか具体的な議題をいれてはどうでしょうか。評価はAでいいでしょうか。
- (6) は今年度、場面が少なかったなので、評価Bでいいでしょうか。
- (事務局) ・社会教育について、(1) の図書館サービスの推進につきまして、窓口サービス、遠隔地巡回、学校配本、読み聞かせ会を実施したことや、新刊についてホームページへの掲載や、図書館だよりで情報発信しました。課題は、職員の勤務体制に制限があること、ボランティアへの支援体制の充実をあげました。改善点は、人員体制の見直しと学校図書室との連携を挙げております。(2) の文化財の保存と活用につきましては、今年度4月から、学芸員を配置し、資料館にて寄贈カメラの展示、志田焼の陶磁資料の展示、その他の文化財の資料整理をしております。伝承芸能は、人づくり振興補助で助成を行いました。また、埋蔵文化財の調整、伝建地区の保存修理を今年度は4件しております。課題は、収蔵庫の収容物が増えすぎて、調査ができないこと、伝承芸能の詳細調査、伝建地区の調整、協議の体制の確立です。改善点は、収蔵資料の整理計画を立てること、保存会、伝建審議会との連携強化を挙げています。
- (〇〇委員) ・大人のお話会を今年度初めてされたので、目玉に挙げたらどうでしょうか。
- (事務局) ・(3) の文化の振興と環境づくりで、アンケートの結果、文化の保存・継承・文化芸術に触れる機会が少ないことが指摘されましたので、アウトリーチやワークショップを開催しました。課題は、団体の年齢層の偏りです。改善点は、文化連盟の統一を図る必要があることです。(4) 次世代を担う青少年の育成は、今年度通学合宿を開催したこと、子どもの居場所づくりで、放課後、土日の学習の場、異世代交流の場を提供しました。課題は、国の制度変更の動きがあることです。(5) の生涯学習のまちづくりは、特に今年度からの新規事業はありません。課題は、利用団体が固定化されていることで、新規の開拓を行うことと、自治公民館新築改修の補助が低額すぎるということです。(6) の生涯スポーツ推進は、例年通りの各種教室や大会の開催、小学生や障がい者へのスポーツの機会の提供、今後の課題は障がい者スポーツへの取組みです。
- (〇〇委員) ・評価はいいでしょうか。
- (全委員) ・はい

### (3) その他

#### ・ スマホアプリとデータ放送について

(事務局) ・ 前回、受け入れできないと協議結果を出していただきましたが、再度、テレビうれしのから再度、塩田と嬉野で摺合せをし、当面は、学校のホームページにあるものをアプリで公開していく。放映は行わないということで、嬉野、塩田間で差はないということで、教育員会の許可をもらったら、学校に説明に行くということです。また、将来的には、文字放送をテレビで放送したいということです。

・ 武雄市の山内地区もこの機能を使っているということで、理解していただきたいとのことでした。

(〇〇委員) ・ ケーブルテレビ離れを防ぐための営業ではないのですか。

(事務局) ・ アプリ上に、会社名が入りますので否定できませんが、当面、テレビ放映はしないということでした。ホームページの内容の一部が公開されるだけで、学校の手間は増えません。

(〇〇委員) ・ 私たち保護者の世代からみれば、どちらでもいいと思います。ホームページの情報を見たい方は、ホームページで見られるわけですから。高齢者に向けた情報発信ができれば、今、別居が多くて、孫の学校行事を知らないのも、それはいいと思います。

(事務局) ・ この件は、次回校長会でお示しして、業者の方に行っていただきます。  
・ 次回は12月20日に定例教育委員会を行い、引き続いて教育委員会評価委員会を開催したいと思います。

(教育長) ・ 提案ですが、次回の定例教育委員会は、評価委員会の評価委員と市役所の新採職員に傍聴していただき、その後、西村学芸員にこれまでの整備状況を説明させますので、学習会をしていただいていいでしょうか。

(全委員) ・ はい

## 4 閉会

会議録署名委員

---

---